

平成 27 年度事業報告書

当センターの設置目的である豊かで活力ある長寿社会の実現に向けて、関係機関・団体と連携を図りながら、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進するための諸事業を実施しました。

人生 90 年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が変化しており、急激な高齢化社会の進行は高齢者自らが地域の一員として、地域社会を支えていくことが求められています。センターでは、時代に即応した役割を果たすため、県の総合 5 か年計画「しあわせ信州創造プラン」で目指す「人生二毛作」社会実現の施策とも呼応して、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目指し、事業を進めてきました。

情報誌発行事業では、シニアのための情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

いきいき中高年社会貢献活動支援事業では、中高年者の社会参加活動を推進するため、地域社会との関わりを深める活動に対して支援し、居場所と出番がある長寿社会の形成を推進しました。

高齢者地域活動会議運営事業では、高齢者の社会参加をテーマに、県民参加のタウンミーティング（県民大会）をセンター各支部で開催するとともに、市町村・ハローワーク等の関係機関が参加する「ネットワーク会議」を開催し、高齢者の社会参加活動を促す取組を推進しました。

長野県シニア大学運営事業では、高齢者の仲間づくりと知識の涵養を高めながら、地域と積極的にかかわる人材を育成することに重きをおいた大学運営を行い、27 年度は 1,045 人の皆さんが卒業されました。

また、定員数や授業料の見直しについてシニア大学運営委員会で検討を行うとともに、高齢者のリーダーやリーダーとともに活動できる人材を養成する「新たな学びの場」をシニア大学に専門コースとして設け、開設に向けた準備を進めることとしました。

信州ねんりんピック開催事業では、高齢者の文化・芸術とスポーツの祭典「信州ねんりんピック」を千曲市及び長野市を会場に開催し、県下各地から延べ 2,700 人の高齢者等の皆さんの参加をいただきました。

また、第 28 回全国健康福祉祭やまぐち大会へ長野県選手団を派遣し、全国の方々とふれあいと交流を深めるなど、生きがいと健康づくりを推進しました。

「賛助会」については、個人会員、法人会員ともに減少傾向が続いているため、各地区賛助会や活動サポーターを通じ、加入促進に向けた取組を引き続き行いました。

賛助会員グループ活動への支援では、グループの活動を円滑かつ積極的に推進するため、その活動経費の一部を助成し、賛助会員が行う社会参加活動など多様な活動を支援しました。

また、賛助会員代表等で構成する地区賛助会連絡協議会において、賛助会員活動の推進等について、活発な協議や意見交換を行いました。

高齢者社会参加促進事業では、「シニア活動推進コーディネーター」を県下 3 地域に引き続き配置し、従来にはなかった多様な組織との連携により情報を共有し、高齢者の社会参加を支援しました。

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

① 情報誌発行事業

高齢者に関係の深い文化や社会参加活動等に関する情報を発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図ってきました。

また、情報誌をシニア大学生に配付し、センター事業のPRとともに賛助会員加入促進並びに社会参加活動の啓発を行いました。

そして、センターの新たな方向性に対応するため、情報誌企画・編集委員会を3回開催し、情報誌のあり方について検討を行いました。

ア 誌 名 「信州りらく」

イ 発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）

ウ 発行部数 4月 5,200部 7月 5,200部 10月 5,200部 1月 5,200部

エ 配布先 賛助会員、市町村、図書館、公民館、公的病院 等

オ 支部通信員の設置 センター各支部に配置の活動サポーターから、地域の身近な情報を提供していただくとともに、読者の声を情報誌の編集に反映させました。

② 広報啓発事業

報道機関等への情報提供を積極的に行い、高齢者の生きがい・健康づくり及び社会参加を啓発、推進するとともに、センターの役割や事業体系・内容等を紹介したパンフレットにより、広く県民や関係機関等に周知しました。また、賛助会員加入案内パンフレット等を活用し、会への加入促進を図りました。

(2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民各層の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施しました。

① ホームページ運営事業

ホームページに、イベント、事業、募集案内及び情報誌「信州りらく」や地区賛助会の会報、人生二毛作かわら版、シニア大学、ねんりんピック等に関する情報等を随時掲載し、センターへの理解や協力が促進されるよう情報発信を行いました。

② 表彰事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に功績のあった個人及び団体を、信州ねんりんピック式典の席上で表彰し、賛助会員活動の一層の推進を図りました。

ア 期 日 平成27年9月5日（土）

イ 場 所 上山田文化会館（千曲市）

ウ 受 賞 者 個人13人、団体7グループ

(3) 活動推進事業

高齢者等による社会参加活動を推進するため、活動経費の助成等を行いました。

① センター支部活動事業

明るく豊かな長寿社会づくりを推進するため、センター支部の自主的な活動を促進することを目的に実施しました。

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業

中高年者が地域社会への関わりを深めるきっかけづくりとするため、地域社会へ貢献しようとする 概ね 50 歳以上の中高年者を中心に結成されたグループを対象に、その活動経費を助成しました。

▶ 助成額 8 グループ 955,000 円（対前年比 93.6%）

③ 高齢者地域活動会議運営事業

高齢者の社会参加をテーマに、昨年度に続き、県民参加のタウンミーティング（県民大会）を県下 10 地域で開催し、意見交換を行いました。また、人生二毛作社会を推進させるため、市町村、市町村社協、ハローワーク等の関係機関が参加し、シニア活動推進コーディネーターとの連携を図りながら、「ネットワーク会議」を開催しました。

2 人づくり

人材育成事業

社会参加意欲の醸成とその実践力を高めるとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。

(1) 長野県シニア大学運営事業

① 高齢者の積極的な社会参加の実践者を養成するとともに、仲間づくりと知識の涵養を高めながら、自らの生きがいと健康づくりを図るため、長野県シニア大学を 10 学部において実施しました。（2 年制）

ア 実施内容 授業時間等 年 60 時間（4 時間×15 日）

（1 学年 教養講座 24 時間、実技講座 20 時間、実践講座 16 時間）

（2 学年 教養講座 20 時間、実技講座 20 時間、実践講座 20 時間）

イ 授業料 1 人年額 8,500 円

ウ 募集定員 2,600 人（各学年 1,300 人）

1 学年入学実績 1,112 人、2 学年進級者数 1,075 人（年度当初人数）

エ 卒業者数 1,045 人

② シニア大学運営委員会において、地域の実情に合わせた募集定員数や、運営費確保のため授業料の見直し等について検討しました。

〈開催状況〉

第 1 回 平成 27 年 9 月 17 日（木）

第 2 回 平成 27 年 10 月 13 日（火）

第 3 回 平成 27 年 11 月 13 日（金）

③ 社会活動推進員の講座運営能力の向上を図るため、研修を実施しました。

開催日 平成 27 年 11 月 9 日（月）

(2) 信州人生二毛作 新たな「学びの場」設立準備事業

様々な地域課題に向き合って解決するスキルを持った高齢者のリーダーやリーダーとともに活動できる人材を養成する「学びの場」について検討し、シニア大学に専門コースを設置することとしました。

3 仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

高齢者による文化・芸術活動やスポーツ活動などに関する多彩なイベントを開催し、生きがいと健康づくりを推進するため諸事業を実施しました。

① 信州ねんりんピック開催事業

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術祭典及びスポーツ交流大会を、県及び各種団体等との共催により開催し、延べ2,700人の方に参加をいただきました。

ア 文化・芸術交流大会

▶ 期 日 平成27年9月5日(土)

▶ 場 所 千曲市上山田文化会館

▶ 内 容

<式典>

・社会福祉表彰(知事表彰) : 個人5人、2団体

・長野県長寿社会開発センター表彰(再掲) : 個人13人、団体7グループ

<姨捨物語>

・千曲市に伝わる姨捨物語を地元の冠着太鼓と朗読で振返る

<オバステ物語その後>

・朗読、立劇等

・シニアの多彩な様子を映像で紹介

<ヒト・モノ・コト巡り>

・様々な活動を展開する方々の展示、販売や温泉街のまち巡り

<人生百歳時代でやりたいこと>

・会場全体で意見交換

<コンサート・富くじ>

・屋代高校ギターマンドリン班の演奏と景品の抽選会

[来場者 約800人]

(7) 長野県高齢者作品展

▶ 期 日 平成27年9月4日(金)～6日(日)

▶ 場 所 千曲市総合観光会館

▶ 内 容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真

出品数 270点

[来場者3日間計 約760人]

(1) 囲碁・将棋大会

▶ 期 日 平成27年9月5日(土)

▶ 場 所 千曲市戸倉創造館

[参加者 約40人]

イ スポーツ交流大会

▶ 期 日 平成27年10月3日(土)

▶ 場 所 長野運動公園総合運動場、犀川第二運動場マレットゴルフ場

▶ 内 容 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトテニス、ソフトバレーボール、ペタンク、ウォークラリー、弓道、テニス、マレットゴルフ(10種目)

[参加者 約1,100人]

② 全国健康福祉祭選手派遣事業

「おいでませ！元気な笑顔 ゆめ舞台」をテーマとした第28回全国健康福祉祭やまぐち大会へ選手を派遣し、全国の高齢者とのふれあいと交流を図りました。

ア 期 日 平成27年10月17日（土）～20日（火） 4日間

イ 場 所 山口県山口市ほか

ウ 参加種目

〈スポーツ交流大会〉 14種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、ウォークラリー、ソフトバレーボール、ダンススポーツ、ボウリング

〈文化交流会〉 3種目

囲碁、将棋、健康マーじゃん

〈関連イベント〉 美術展、シンポジウム等

エ 本県の選手団 125人（監督・選手104人、同行者等21人）

オ 主な成績 ソフトテニス 優秀賞（団体戦）

ペタンク 優秀賞（団体戦）

ウォークラリー 優秀賞（団体戦）

ソフトバレーボール 優秀賞（団体戦）

将棋 優秀賞（団体戦）

健康マーじゃん 優勝（団体戦）

(2) 活動推進事業

地区賛助会活動への助言・支援、グループ活動への助成等により、会員への活動支援と入会促進を推進しました。

① 賛助会員募集・活動推進事業

活動サポーターの研修会を開催し、会員募集活動の促進、活動グループの育成を進めるとともに、シニア大学生への説明会や情報誌配付によるPR等、積極的に会員募集を行いました。

また、個人賛助会員の特典となる、料金の割引サービスを提供する「割引協力店名簿」を配布しました。

ア 活動サポーター研修会

▶ 開催期日 平成27年7月27日（月） 参加者数 24人

イ 賛助会員等の状況（平成28年3月31日現在）

▶ 個人会員 3,234人 法人会員 68団体

▶ 活動グループ数 194 グループ 2,440人

▶ 割引協力店 282施設

② 地区賛助会運営費交付事業

地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付しました。

▶ 交付額 1,970,000円

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業

賛助会員代表（20人）と支部事務局長（10人）から構成する連絡協議会を開催し、「地区賛助会活動の推進について」及び「長寿社会開発センター事業等のあり方について」意見交換するとともに地区賛助会活動の連絡調整を図りました。

- ▶ 連絡協議会 2回開催（6月、12月）

④ 賛助会員グループ活動支援事業

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成しました。

- ▶ 助成額 202グループ 2,707,700円

なお、社会貢献活動加算は、80のグループに対して助成しました。

4 コーディネートの仕組みづくり

高齢者の社会参加ニーズと地域社会の高齢者に対するニーズ情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」3名を配置し、様々な形での社会参加を創出するとともに、各地域で開催したタウンミーティング（県民大会）の開催支援等により、高齢者の社会参加を支援しました。

(1) 高齢者社会参加促進事業

「シニア活動推進コーディネーター」を長野、上小、諏訪の3地域に配置して、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係団体と連携体制（プラットフォーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行うとともに、シニア層の様々な取組事例等を情報発信することにより、高齢者の社会参加を支援しました。

- ▶ コーディネーターの支援による新たな社会参加の主な事例
 - ・ 県が推進する信州型コミュニティスクールへのシニアの参加
 - ・ シニア大生によるスーパーの一角での地域の居場所づくり（サロン運営）
 - ・ 浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）及び県と連携し、再就職を希望するシニア人材（約60人）と地域企業（17団体）との交流会の開催
- ▶ 県下10地域でのタウンミーティング（県民大会）の開催を支援し、高齢者の社会参加活動促進のための取組を推進（再掲）
- ▶ コーディネーターの相談件数 延べ 3,322件
- ▶ 人生二毛作かわら版の発行 3回

5 センターの運営

センターの運営について審議するため理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため支部事務局次長等会議等を開催しました。

(1) 理事会

① 第10回理事会 平成27年5月18日（月）

- ▶ 平成26年度事業報告、収支決算等について決議

② 第11回理事会 平成28年3月7日（月）

- ▶ 平成28年度事業計画、収支予算等について決議

(2) 評議員会

① 第9回評議員会 平成27年6月11日（木）

- ▶ 平成26年度事業報告、収支決算等について決議

② 第10回評議員会 平成28年3月24日（木）

- ▶ 平成28年度事業計画、収支予算等について決議

(3) その他の会議等

① 支部事務局次長等会議

ア 平成 27 年 4 月 23 日（木）

- ▶ 平成 27 年度事業の推進等について協議

イ 平成 27 年 12 月 10 日（木）

- ▶ 平成 28 年度事業概要、平成 28 年度事業の推進等について協議

② 地区賛助会連絡協議会

ア 平成 27 年 6 月 18 日（木）

- ▶ 平成 27 年度センター事業について協議・意見交換

イ 平成 27 年 12 月 25 日（金）

- ▶ 平成 28 年度事業概要等について協議・意見交換

③ 情報誌企画・編集委員会

ア 平成 27 年 5 月 27 日（水）

- ▶ 平成 26 年度検討概要の確認、今後の情報誌のあり方について協議

イ 平成 27 年 6 月 23 日（火）

- ▶ 今後の情報誌のあり方について協議

ウ 平成 27 年 11 月 4 日（水）

- ▶ 情報誌「信州りらく」の誌面構成の変更、平成 28 年度情報誌「信州りらく」編集方針、カラーページについて協議

④ 2015 信州ねんりんピック実行委員会・小委員会

ア 平成 27 年 5 月 11 日（月）

- ▶ 実行委員会報告、準備日程等について、確認・協議

イ 平成 27 年 6 月 1 日（月）

- ▶ 進捗状況について確認

ウ 平成 27 年 7 月 9 日（木）

- ▶ 進捗状況、台本、今後の準備日程について確認

エ 平成 27 年 8 月 3 日（月）

- ▶ 共有事項の確認、各プログラムの検討

(4) 監査

監事監査 平成 27 年 5 月 8 日（金）

- ▶ 平成 26 年度事業執行状況及び収支決算の状況等について